

医院だより

令和8年6月 (275)

秋山医院
藤岡市小林748-8

☎0274-22-8315

水無月 (みなづき) 別名 風待月 (かぜまちづき)

常夏月 (とこなつづき) 青水無月 (あおみなづき)

月見ず月・五月 (さつき) ・たぐさ月

陰暦六月の異名。陽暦の七月ごろにあたる。語源には諸説あるが、炎暑のため水が涸れ尽きること、つまり水の無い月とするのがふつうである。風待月は酷暑にあえぎながら風を待つのであり、時に雷鳴や夕立を催し、夕暮れの涼しさに、さすがに秋の気配を感じる季節。青水無月は山野が青々と茂るところからその名が生まれたが、青梅雨と混同して使われることがあるので、注意したい。

六月や田毎に雲置く嵐山 芭蕉

水無月の田毎に鳴を点じけり 長谷川かな女

(講談社「カラー図説日本大歳時記」)

芍薬 (赤城自然園)



目次(頁)

- 1 六月の異称、六月の花、六月の言葉
- 2 六月の暦、お知らせ、診療案内、健康テレフォン、
- 3 大岡 信選集 けんこう(百九十七)
- 4 ひとくちメモ (4) 大人のあせも
院長のひとりごと(243)

『二十年後のご返事』

『六月の花』

花菖蒲(はなしょうぶ)・紫陽花(あじさい)・敦盛草(あつもりそう)・岩鏡(いわかがみ)・九輪草(くりんそう)・大山木(たいさんぼく)・卯木(うつき)・きつき・夏椿(なつづばき)・立葵(たちあおい)・どくだみ・大山蓮華(おおやまれんげ)

『六月の言葉』

悪魔の策略に対抗して立つことが出来るように、神の武器を身に着けなさい。わたしたちの戦いは、血肉を相手にするものではなく、支配と権威、暗闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊を相手にするものです。だから、邪悪な日によく抵抗し、すべてを成し遂げて、しっかりと立つことが出来るように、神の武器を身に着けなさい。

(エフェソの信徒への手紙第六章一一―一三節)

私たちがキリストの福音をもってこの世に立つ以上は、戦闘はこれを避けようと望んでも全然できるものではない。私たちはもちろん他を苦しめるために闘わない。@また自分の怨恨(うらみ)をはらすためには闘わない。私たちはもちろん何よりも静粛を

愛する。もし私たちの好愛を言えば私たちは終生聖書と天然とを友として、讚美と詩歌の生涯を送りたいと願う。しかしこれは「自身で十字架を負って私たちを罪から救い出して下さった主が私たちにお許しにならないところである。私たちは悪魔と奮闘せざるを得ない。そしてその悪魔は単に内にある霊の悪魔ではない。外にある肉の悪魔である。佞人(ねいじん)である、奸物(かんぶつ)である、酒である、賄賂(わいろ)である、淫猥(いんわい)である、残忍である。私たちは時には彼らの怒れる顔を恐れずに「主はお前を憎まれる」と言っ彼らを詰責しなければならぬ。

(内村鑑三「一日一生」5.25)

「六月の暦」

- 一日 電波の日、写真の日、気象記念日
- 二日 横浜開港記念日
- 四日 歯と口の健康記念日、伝教大師忌
- 五日 世界環境デー、熱田神宮祭
- 六日 芒種
- 十日 時の記念日
- 十一日 入梅
- 十五日 弘法大師誕生会
- 十八日 海外移住の日
- 二十一日 夏至
- 二十三日 オリンピックデー、沖縄慰霊の日
- 二十六日 国連憲章調印記念日

お知らせ

一、マイナンバーカード、資格証明書で 受付を行っています。

二、診療案内

『午後診療』では通常の診療のほか、

『予約診療』もできますので時間調整が必要な方はご利用ください。

予約は電話でもできます。

○当番医 8月9日(日)

『診療案内』

- 一般外来診療
- 往診・在宅医療(相談ください)
- 骨粗鬆症の診療 ○ピロリ菌の診断・除菌
- CT、MRI、PETの予約
- 胃・大腸内視鏡
- インフルエンザ・新型コロナ・肺炎球菌・帯状疱疹ワクチンなど

三、群馬県保険医協会二十四時間健康テレホン

<http://www.rajin.com/kenko/>

電話〇二七一一三四―四九七〇

月	歯科のレントゲン検査
火	女性の過度なダイエットは危険です
水	さまざまな原因で起こる金属アレルギー
木	いびきがひどい
金	夏に向けてのスキンケア
土日	予防診療とキャンセル料

ならぎかのいしのほとけのおとがひに

こまめながるるはるはきにけり

会津八一(あいづやいち)

「南京新唱」(大二三)所収。奈良市の北、般若寺を経て、木津に出る坂が奈良坂。その上り口の右の路傍に『夕日地蔵』と土地でよぶ石仏が立っている。春の日、石仏の下あご(『おとがい』)に小雨がしとしと降りかかる。八一は北の京都に対して奈良を南京と呼び、『南京新唱』をはじめとして、この地を讃嘆する多くの歌を詠んだが、路傍の石仏を詠んだこういう歌にも古都の懐かしさがしみじみ流れている。

春高樓の花の宴

めぐる盃かげさして

土井晩翠

『中学唱歌』(明三四)所収「荒城の月」冒頭。姓はツチイ。のち通称に従って 自らドイと呼ぶようになった。新体詩草創期に藤村とともに最も愛唱された詩人。

「荒城の月」は東京音楽学校の求めて作詞した。作曲者滝廉太郎はその後もなく病没したが、この曲によってその名は不朽である。

晩翠の故郷仙台の青葉城址にはこの歌を刻した詩碑があって、城の高殿に花の宴を催した往時をしのばせる。

けんこう(百九十七)

群馬県感染症発生動向調査より(24週)

(群馬県衛生環境研究所感染制御センター)

★A型溶血性連鎖球菌咽頭炎が一部の地域で

多く報告されています。

★第24週時点で、今年3例目となる麻疹患者

の報告がありました。麻疹を疑う症状(発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血など)がある場

合は、医療機関に電話をしてから受診するよ

うにしてください。

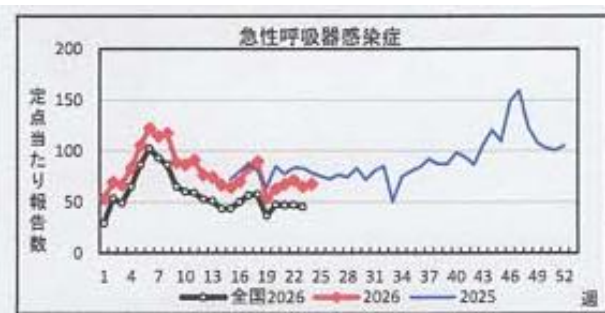
★腸管出血性大腸菌感染症は、気温が高くな

るこれからの季節に特に注意が必要です。

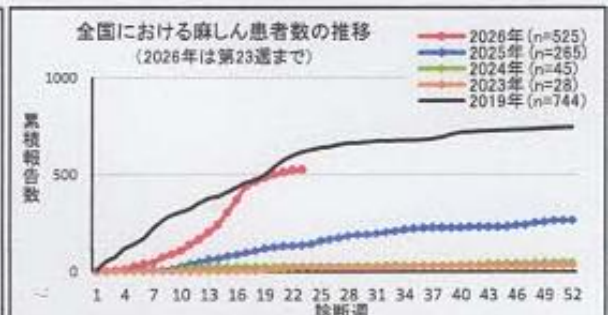
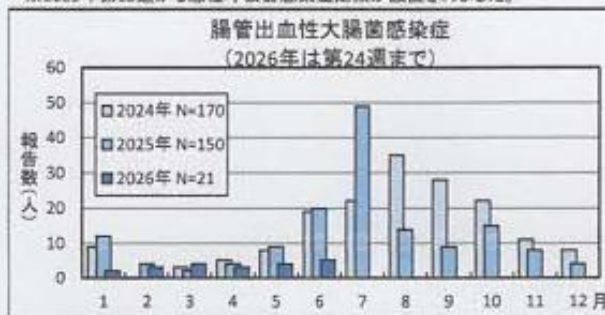
肉は中心まで十分に加熱し生野菜はよく洗

って食べましょう。予防のために、こまめに石

鹸と流水で手を洗いましょう。



※2025年第15週から急性呼吸器感染症定点が設置されました。



ひとくちメモ(4)

(大人のあせも〜広範囲のあせもは)

熱中症のリスクも〜)

(この項は2026(5) 日本医師会発行「健康
ガイド」(602)を参考にしています。)

1 原因

(1) あせも(汗疹) 子供が多い皮膚トラブルと思われがちですが、大人にもよくみられる病気です。

(2) 原因は汗の出口や通り道が詰まり、汗が皮膚の中にとどまることで起きます。高温多湿の環境や、通気性の悪い衣類を着ていること、かいた汗を長時間放置することなどが引き金になります。汗の通り道のつまりが改善するまでには数週間かかることもあり、その間、一時的に汗が出にくくなる可能性があります。

2 症状と注意点

主な症状 赤みを伴うぶつぶつや小さな水ぶくれとかゆみ。とくになつばに、胸や背中などの蒸れやすい場所によくできます。強く掻くと細菌感染を起こし、症状が悪化することがあります。

広い範囲で汗が出にくくなると体温調節

がうまくいかず、熱中症のリスクが高まる点にも注意が必要です。

3 セルフケアと治療

基本は

- ① 皮膚を清潔に保つこと
- ② かいた汗を長時間放置しないこと
- イ 汗を書いたらシャワーや流水で早めに洗い流す
- ロ おしぼりなどで汗を拭きとる
- ハ 通気性の良い衣類に替える

③ 炎症やかゆみが強い場合には、外用薬による治療を行う

④ かゆみを伴う赤いぶつぶつや水膨れが広範囲に及ぶ場合や、セルフケアがある『ジユクジユクしてきた』などの異常がある際は皮膚科専門医に受診してください。

ツリガネ草



院長のひとりごと(243)

二十年後のご返事

◇「のりおくん、こちらに来てみないか、
いうた(俳句)だね」

「…くん」は小学校以来の呼びかけである、
この一言で小学生に戻った気分になる。

もう20年以上も前のことだった。長野に住んでいた幼なじみの女性が、小学1年から3年までお世話になった先生ご夫妻を長野に招待したので私にも来てみないかと誘ってくれたのだった。

◆その折訪れた佐久間象山記念館、象山地下壕跡を見学した後、お土産屋さんで品物を見て回って先生の近くに行った時、先生が声をかけてくださったのだ。
「この歌はいいねえ」

と指をさしてくださった俳句が、風鈴の短冊に揺れていた。

「はあ・・・」

といいながら、私はその歌を紙に写して手帳に挟んだ。

『秋愁うことなく過ぎて』

ありがたし 智照尼

とあった。

『私の人生ももう秋にきていますが、あれこれ心配したり、気がかりだということもな

く過ごせていることが出来て有難いことです』という意だろうか。

◇確かに七十代後半だった先生も同じ感慨だったので、お声をかけてくださったのかとずっと思っていた。

◆私は書き写した紙片をそれから20年以上、一年ごとに変わる手帳に差し替えて、今は亡き先生の想い出して身に付けていました。

昨年頃だったか、句の作者のことが気になり、「尼」とついていたから「尼さんー女性」には違いなからうがひょっとしてその作者の情報が分かるかもしれないと思ってスマホで検索してみた。

◇『実在』の方であった。大変な生涯を送られた方であった。ウイキペディアから略歴を拾ってみました。

明治29（1896）年大阪市で生まれ、母親が幼くして死亡、実の父親に芸妓屋に売られ波乱の生活を過ごした後、39歳で久米寺で得度（出家）し、2年後に廃寺になっていた祇王寺に入庵、従姉弟とともに寺の復興に尽力し、平成6年（1994年）98歳で世を去ったという方でした。

◆祇王寺というと、思い当たることがあります。源平の時代、平氏の全盛時代、平清盛に愛された祇王という白拍子（しらびょうし＝遊女）が、祇女という女性の出現によって暇を出され、

母親と妹と3人でひそかに暮らしていたところ、夜中に一人の女性が尋ねて来て一緒に住まわせてくれという。驚いて名前を聴くと自分祇王が清盛から暇を出される原因になった「祇女」だということではないか。

「そんな方がなぜここへ：」

理由を聞けば、世の無常を知ったからだ、と答える、「平家物語」の名場面の一節です。

◇智照尼の場合も男性中心の社会の中で女性が男性に頼らなくても生きてゆく決心をした祇王祇女の心意気だったのです。

◆智照尼自身は勉強熱心で書の勉強もきれ、俳句もホトトギス派の高浜虚子に学んでいます。

（俳句に関しては、前川佐美雄さん（1903～1990）の俳句に

『秋愁う心もなくてありがたし』

とよく似た俳句がありました。ほぼ同時代の方です。

◇高岡智照尼の生涯に関する本は瀬戸内晴美（寂聴）さんの「女徳」ほか沢山

出ており、智照尼さんの自著も数多くあります。わたしは瀬戸内さんの御本は「食わず嫌い」ならぬ「読まず嫌い」という偏見を持つていましたが今回初めて読んでみて、狭い料簡であったと反省しています。興味半分の評はともかく、まず読んでみるのが大切と教わりました。

◆疑問が残りました。

(1) 私たちの恩師は、智照尼のことを知っておられて、その人の句に出会って教えてくださいませんか？

(2) または、先生のご年齢だったら誰でも感じる人生への感慨がうたわれていたから、ご自分のお気持ちも重ねて伝えてくださったのか？

◇しかし、この信州旅行の2年後には先生は世を去られてしまいました。

出来ることなら、友人と私からの感想を聴いていただき、先生のお話を伺いたかったなあと無念の思いでこの世で見てもうえなかつたご返事を書いたのです。

お会いするたびに、いつも先生のお写真に向かって話しかけているんですよ、とお話しくださっていた奥様も、昨年（令和8年）に旅立って逝かれてしまいました。

